



第41回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、岩本 秋光さんにご紹介いただいたこの方は、「知られざる健康野菜を全国に広めていっているスゴイ人」とのこと。インタビュアーは江藤裕一でお届けします。

【今回のスゴイ人】

田之上 より子さん



今

回は末吉町にお住まいで紫やまいもを作っている、田之上より子さんにお話を伺ってきました。

田之上さんは都城市生まれで、学校卒業後は名古屋で仕事をしていました。

5年ほど経ったとき、ご家庭の事情により帰郷することになり、お花屋さんにて勤めはじめます。

そこで取り扱う苗が実際どんなものがいいのか気になった田之上さん。使っていなかった実家の畑で少しずつ野菜を作り始めます。お父さんから「畑を作るのだったら薬を使うな」と言われたこともあり、その頃から無農薬でした。

「実家が農業をやってましたし、畑仕事が好きで。主人にも休みの日には手伝ってもらいながら続けていました」

それから数年たった時、勤め先のお花屋さんで『紫やまいも』の存在を知り興味を持ちました。

「紫色の野菜ならポリフェノールとかたくさん入っていそうだけど、

最初に見た紫やまいもは、皮が紫色で、中は白いもの。中まで紫色のやまいももあるのではと思っていたら、志布志あたりであるかも：とある人が教えてくれて。主人と一緒にあちこち探しに行きました」

そして、ついに大崎と松山で、苗を発見。早速苗を買い、栽培方法がわからないながらも独学で育て始めました。

「紫やまいもを育て始めてから25年になります。今では芽を見ただけで収穫する紫やまいもの色味までわかるようになりました」

その存在をもっとたくさんの人に知ってもらいたいとの思いから苗を売るようになり、日本の各地へ田之上さんが作られた紫やまいもの苗が発送されています。

「これからはいろんなお店の方に紫やまいもで料理などしてもらって、『紫やまいも』と言ってもらえるように、広がってほしいと思います」と想いを語ってくれました。

実は隣のスゴイ人



▶インタビューを終えて



少しずつ畑をはじめ、紫やま
いもに出会い、あえて難し
い作物の栽培にチャレンジ。
25年という歳月の中で一つ
のことに取り組み、カタチ
にしてきたことが素晴らしい
と感じました。



協力隊の今日この頃

5月になり曾於市に来てから
あっという間に一年が経ちました。
最近特に印象的だったのが4月15
日からの「ドライブスルー in SO
O市」。力を合わせてスピーディー
に作り出していく曾於市の方々に
底力を感じました。これが始まり
となり次へとつながっていくこと
と思います。

今年度から、専門家による相談
「鹿児島県よろずや」を毎月1回、
第4水曜日に実施していきます。
事業の様々な相談（資金繰りやこ
れからのこと補助金のことなど）
を受け付けます。詳しくは17ペー
ジをご確認ください。

また、私自身でも起業のことや
起業して間もない方、事業につい
て新たな展開を考えている方への
相談対応（ホームページやSNS、
オンライン会議について等も）を
していきます。なにかあれば、お
気軽にご連絡くださいませ。

